

# Economic Indicators

発表日: 2024年8月23日(金)

## 主要経済指標予定(2024年8月26日~8月30日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部  
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(8月26日~8月30日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
8月26日 (月)	14:00 6月景気動向指数改訂値 CI先行指数(前月差) CI一致指数(前月差)	— —	— —	— —	▲2.6pt ▲3.4pt
8月27日 (火)	8:50 7月企業向けサービス価格指数 (前年比)	+2.9%	—	—	+3.0%
8月28日 (水)					
8月29日 (木)	14:00 7月消費動向調査 消費者態度指数(一般世帯、季調値)	—	—	—	36.7
8月30日 (金)	8:30 8月消費者物価指数(都区部) 東京総合(前年比) 東京コア(前年比)	+2.4% +2.3%	+2.3% +2.2%	+2.1%~+2.4% +2.1%~+2.3%	+2.2% +2.2%
	8:30 6月サービス産業動向調査 売上高(前年比)	—	—	—	+3.2%
	8:30 7月労働力調査 完全失業率	2.5%	2.5%	2.5%~2.6%	2.5%
	8:30 7月一般職業紹介状況 有効求人倍率	1.23倍	1.23倍	1.22倍~1.24倍	1.23倍
	8:50 7月鉱工業指数・速報 生産(前月比)	+3.2%	+3.4%	+2.8%~+5.2%	▲4.2%
	8:50 7月商業動態統計・速報 小売業販売額(前年比)	+2.0%	—	—	+3.8%
	14:00 7月住宅着工統計 新設住宅着工戸数(前年比) (季調値年率)	▲0.1% 78.8万戸	▲0.7% —	▲3.5%~+2.4% —	▲6.7% 76.5万戸

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成

**8月都区部消費者物価指数（生鮮食品除く総合） 当社予想：前年比+2.3% 中央値：同+2.2%**

CPI コアは前年比+2.3%と、前月から上昇率が拡大すると予想する。エネルギー以外のコアコアは前月並みで推移する一方、前年の下落の裏が出ることもあって電気・ガス代のプラス寄与が拡大することが押し上げ要因となり、CPI コア全体では上昇率が高まるだろう。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

**7月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：2.5%/1.23倍 中央値：2.5%/1.23倍**

企業の人手不足感は非常に強い状況が続いており、労働需給は引き締まっている。失業率は低水準での推移が続く見込み。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

**7月鉱工業生産指数 当社予想：前月比+3.2% 中央値：同+3.4%**

7月の鉱工業生産を前月比+3.2%と予想する。主力の輸送用機械は認証不正問題の影響で停滞感が強い一方で、世界的な半導体需要の回復を背景に生産用機械や電子・デバイスが押し上げ、鉱工業生産は2か月ぶりの上昇となるだろう。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

**7月小売業販売額 当社予想：前年比+2.0%**

自動車販売の増加が押し上げに寄与する一方で、その他の財が、前月の上昇の反動もあって減少するとみられる。小売業販売額は前月比で小幅減、前年比では伸び鈍化を予想する。物価高の悪影響が残存していることもあり、個人消費の回復力は脆弱なものにとどまっている。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

